

21世紀の日本のかたち（118）

2019（令和元）年の秋から冬にかけて



戸沼幸市

<（一財）日本開発構想研究所 代表理事>

1. 台風災害15号、19号、21号に伴う大雨

令和元（2019）年も秋、昨年が続いて強烈な台風が立続けに日本列島を襲いました。

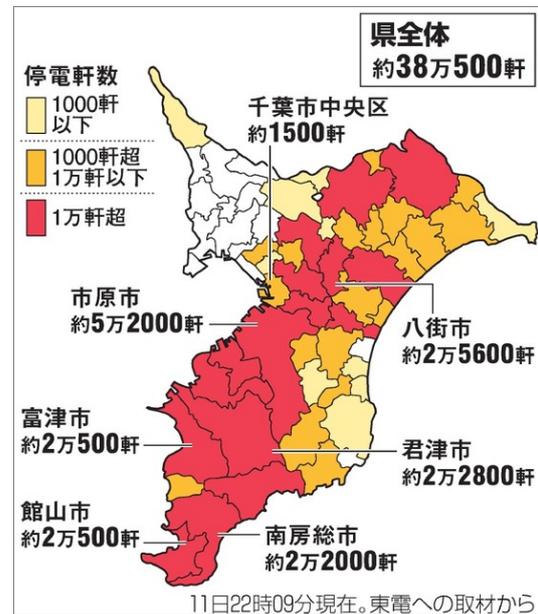
まず台風15号が9月9日午前3時前強い勢力を保ったまま三浦半島を通過、東京湾を抜けて午前5時前に千葉市付近に上陸、関東を暴風域に巻き込み、被害は8都県に及び死者1名、負傷者150人、住宅全壊342棟、半壊・一部破損74,666棟、床上・床下浸水245棟になりました。首都圏の朝を直撃した台風15号は、交通を寸断し、各所に混乱状態を生じさせました。15号被害の特徴の一つは、鉄塔がダメージを受けるなど配電設備を故障させ、千葉、神奈川を中心に、最大時90万戸以上が停電したことでした。特に、停電の長期化は、工場停止、コンビニ休業、病院の機能不全、社会生活の基盤を不安定化させました。

図1 台風15号の進路と特徴



資料：朝日新聞（2019.9.10）

図2 千葉県の停電の状況



資料：.朝日新聞（2019.9.12）

台風15号に続いて、未曾有の豪雨をもたらした台風19号が10月12日18時45分、静岡県伊豆半島に上陸。関東・東北を北上し、猛威をふるい、午後ようやく北海道沖に抜けて行きました。この間、千曲川、阿武隈川などの流域で70を超える河川の堤防を決壊させて、広範囲に河川を氾濫させ、人々の日常生活の場を大きく破壊して行きました。

台風19号の被害状況は関東地方をはじめ広域に及び、死者85人、行方不明3人、負傷者476人、住宅全壊3,063棟、半壊・一部破損50,057棟、床上・床下浸水34,739棟。また、読売新聞（11月12日まとめ）によれば

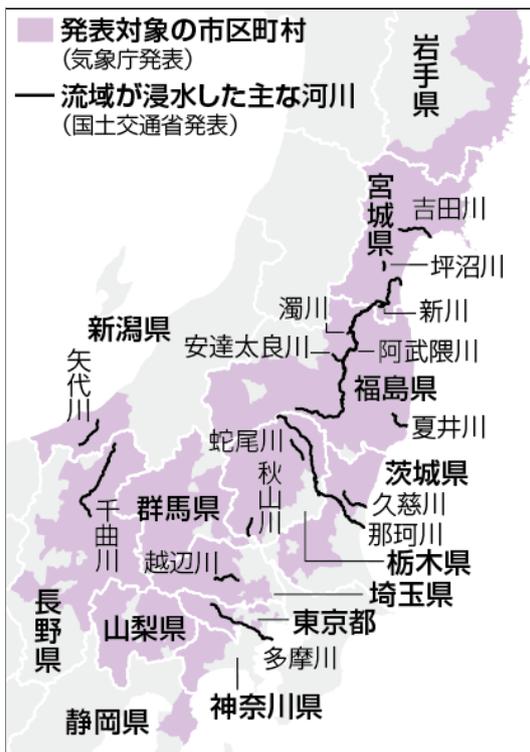
堤防決壊 71 河川、1,140 ヶ所、土砂災害 884 件、農林水産被害 2,511 億円、鉄道被害 254 路線、住宅被害 82,341 棟、医療施設被害 222 施設、図書館被害 109 館以上と報告されています。

図3 台風19号による千曲川の決壊



資料：読売新聞 (201.10.16)

図4 台風19号で流域が浸水した主な河川



資料：「大雨特別警報が発表された13都県」時事通信 JJI.COM (2019.10.15)

台風19号による豪雨が日常親しんでいた河川の氾濫によって、生活と生業の場を破壊して行く情報映像は目を覆うばかりでした。避難の夜の不安、生活の再建の目処はどうか

のか、生業はどうなるのか、災害ゴミの始末は。今度の被災地は私も知っている地域を多く含まれております。政府は台風19号による被害を「非常災害」と「激甚災害」に指定しました。被害者の生活支援、生業再建にできるだけのことをしてほしいものです。

10月25日午後1時、日本列島に3つ目の台風21号に伴う大雨が、千葉・茨城・福島各県を襲いました。台風は千葉県を中心に激しい雨を降らせ、27の河川を氾濫させ、激流が住宅地、家屋に土砂を運んで流入、広い田畑を破壊させました。大雨による死者は13人、重軽傷8人、住宅被害3,199棟と報じられました。被災地では相次ぐ台風の影響で浸水した家屋からの災害ごみの処理が大きな課題となっております。

図5 台風21号に伴う大雨による洪水 (千葉県茂原市)

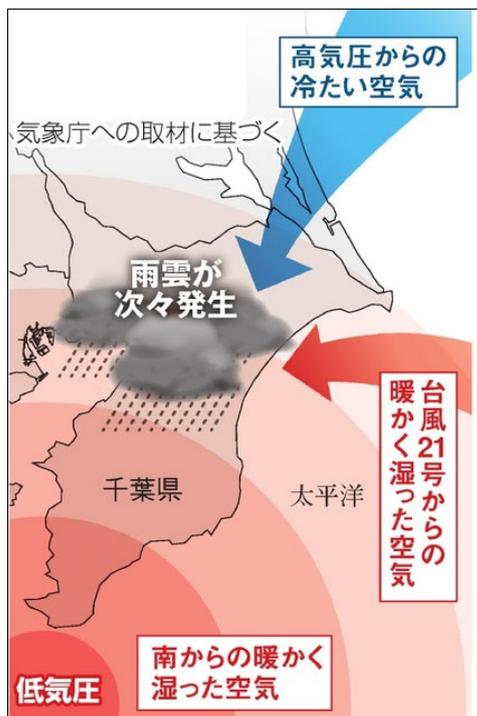


資料：朝日新聞 (2019.10.26)

この秋、東日本を襲った3つの台風、15、19、21号による被害は、38都道府県に及び、

死者 99 人、このうち 19 号では 85 人死亡、3 つの台風で亡くなった人のうち 7 割近くが 60 歳以上の高齢者だと報告されています。超高齢化社会に向かう居住、居住環境のあり方も改めて点検すべきこととなります。

図 6 千葉県に大雨を降らせたメカニズム



資料：朝日新聞 (2019.10.27)

表 1 台風 15 号・19 号・21 号に伴う大雨による主な被害

	15号	19号	21号での大雨
死者	1人	85人	13人
行方不明		3人	
負傷者 重症	13人	39人	1人
軽傷	137人	437人	7人
建物被害全壊	342棟	3,063棟	14棟
半壊	3,927棟	24,759棟	50棟
一部損壊	70,397棟	25,298棟	245棟
床上浸水	127棟	11,607棟	1,409棟
床下浸水	118棟	23,132棟	1,481棟
河川の決壊		140カ所 (71河川)	

資料：総務省発表 (2019.12.5) と朝日新聞社

2017 年、2018 年、そして 2019 年の今年と、

連続して日本列島を襲った台風について改めて対策を講ずべきことが求められます。

治水、堤防、老朽化した土木インフラの点検、整備、電柱の地下化、中小河川の監視強化、災害ごみ問題の対応、浸水想定地域の利用制限、森林の保全など人口減少高齢化に向かう 21 世紀日本社会に見合った対策が必要です。地震と並んで台風豪雨の対策は、政府の国土強靱化計画はもとより、河川、土木、建築、都市計画などの学会を動員して対策を立てるべき課題に違いありません。

近年、日本の台風の巨大化、40℃を超える熱波など、異常気象の頻度の増加は地球全体の温暖化と関連するという指摘もなされています。今年 9 月の米ニューヨークで開かれた「国連気候行動サミット」ではパリ協定が改めて取り上げられ、温室ガス対策に鈍いアメリカなど主要国に対し、スウェーデンの 16 歳少女、グレタ・トゥンベリさんが「若者はあなたたちの裏切りに気づき始めている。もし私たちを見捨てる道を選ぶなら絶対に許さない。よくもそんなことができる、How dare you」で注目され、大きく報道されました。

日本列島を襲う強烈な台風、豪雨が地球温暖化に関連しているのであれば、これを地球的視点から日本の台風災害なども論ずべきこととなります。

注) 気候行動サミットとパリ協定

- ・2015 年に採択、20 年にスタート
- ・産業革命前と比べた世界平均気温の上昇を 2 度未満に可能なら 1.5 度に抑える
- ・すべての国が温室効果ガス排出の自主的な削減目標を策定し、国連に提出する

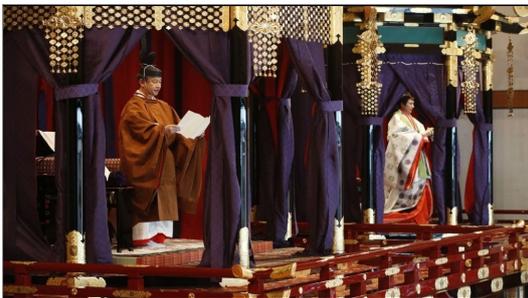
2. 令和元年、天皇即位の儀式

日本の年号が平成から令和へ変わる新天皇即位の一連の儀式が、この5月から12月にかけて行われました。

令和元年、天皇即位の儀

2019年10月22日、天皇即位の「即位礼正殿の儀」が皇居で行われました。天皇陛下は午前9時に皇祖神とされる天照大神を祀る賢所、宮中三殿に拝礼。続いて午後1時から、宮殿・松の間で「黄櫨染御袍」に身を包み「高御座」に上り、即位を内外に宣言しました。隣には十二単姿の皇后陛下が高御座に並んで設けられた「御帳台」に立たれました。

図7 「即位礼正殿の儀」で即位を宣言される天皇陛下と御帳台に立たれる皇后さま



資料：毎日新聞（2019.10.23）

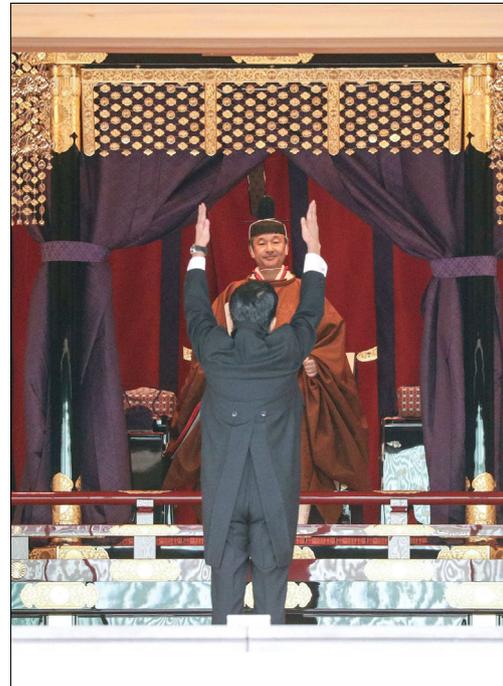
松の間のこの舞台には、秋篠宮ご夫妻ら皇族、宮内庁幹部、侍従、女官らが装束姿で儀式に臨んでおり、一服の平安調が切り取られて演出されておりました。

即位を発する天皇のお言葉の後、四尺下って安倍晋三首相の発声で万歳三唱。これに合わせて21発の礼砲が北の丸公園から打たれました。

この日、海外からは英国チャールズ皇太子を始めとする約200か国、国際機関からの賓客が、松の間と中庭を挟んだ春秋の間で儀式

に参列する筈となっておりました。夜には豊明殿を主会場に、主に外国からのお客を招いた祝宴が賑やかに行われておりました。

図8 「高御座」に立つ天皇陛下に向かって、万歳をする安倍晋三首相



資料：朝日新聞（2019.10.23）

天皇陛下のおことば（全文）

さきに、日本国憲法及び皇室典範特例法の定めるところにより皇位を継承いたしました。ここに「即位礼正殿の儀」を行い、即位を内外に宣明いたします。

上皇陛下が三十年以上にわたる御在位の間、常に国民の幸せと世界の平和を願われ、いかなる時も国民と苦楽を共にされながら、その御心を御自身のお姿でお示しになってきたことに、改めて深く思いを致し、ここに、国民の幸せと世界の平和を常に願い、国民に寄り添いながら、憲法にのっとり、日本国及び日本国民統合の象徴としてのつとめを果たすことを誓います。

国民の叡智とたゆみない努力によって、我が国が一層の発展を遂げ、国際社会の友好と平和、人類の福祉と繁栄に寄与することを切に希望いたします。

新天皇は即位にあたってのお言葉の中で「平和」について3度述べておられます。先の戦争体験を持つ昭和8年生まれの上皇陛下は、戦争で犠牲になった人々に対する鎮魂の旅を、沖縄など日本はもとより海外にまで出向かれて続けられました。令和の時代、戦後生まれの新天皇として、平和の祈願をどのような「かたち」にして表されるのか。

祝賀御列の儀

10月の巨大台風で延期になっていた令和の「祝賀御列の儀」（即位パレード）が、11月10日に行われました。この日、秋晴れの中、天皇、皇后両陛下はオープンカーに乗って、皇居から青山通りに出て赤坂御所に向かう4.6kmの祝賀御列の儀が、沿道12万人の国民の祝福を受けてにこやかに手を振って応じておられました。

図9 「祝賀御列の儀」でオープンカーから手を振られる天皇、皇后両陛下



資料：読売新聞（2019.11.12）

大嘗祭（だいじょうさい）

11月14日の夕方から15日未明まで、皇位継承儀式「大嘗祭」が行われました。場所は皇居東御苑内、ほぼ90m角の敷地に建てられた仮設の木造建築「大嘗宮」です。この空間の二つの主要建築、悠紀殿と主基殿で五穀豊

穰と国家安寧を祈る「供饌の儀」が薄明りの中で行われました。

図10 皇居東御苑に建てられた大嘗宮



資料：産経新聞（2019.11.13）

供饌の儀は皇室が祖神とする天照大神などに、日本のいくつかの地域から集められたご飯（米）、酒、果物、海産物、を供せられ、天皇ご自身も口にする直会^{なおらい}が行なわれました。皇后陛下は白い十二単姿^{ちようでん}で拝礼し、安倍首相ほかの参列者は、神殿の外側の仮設建築に、参列者が陛下の姿を見られたのは廊下を往復する間のわずかの時間だったようです。

図11 大嘗宮の儀



資料：毎日新聞（2019.11.15）

大嘗祭が行われた空間には大小40近い建物が造られており、建設関係費24億円超、12月には取り壊されるとのことが予定されています。

写真1 一般公開された大嘗宮を参観する市民



写真：松本撮影

親謁の儀

11月22日、23日、天皇、皇后両陛下は、三重県伊勢神宮の外宮（皇大神宮）・内宮（豊受大神宮）を参拝し、ご自身の即位を報告されました。親謁の儀は大嘗祭とつながって、長大な日本の文化を感じさせます。

天皇・皇后両陛下は、伊勢に続いて11月26日、奈良、神武天皇など歴代の天皇陵参拝。つづいて27、28日、京都市伏見区の孝明天皇陵、明治天皇陵に参拝されて、12月4日、皇祖神の天照大神に感謝を込めて神楽を演奏する「賢所御神楽の儀」に臨まれました。5月から続いていた即位関連儀式の締めくくりとして行われ、令和元年天皇即位の一連の儀式を終えられました。

3. 大嘗祭跡地の活用—令和・平和記念碑を造る提案

今度の天皇即位の一連の儀式の中核的行事の大嘗祭は、北の丸公園に近い皇居東御苑の一区画に仮設された大嘗宮で行われました。この大嘗宮は儀式終了後には取り壊しが決まっており、その前の11月21日から12月8日にかけて一般観覧され、私も一日見学し、大嘗宮を垣間見ることができました。

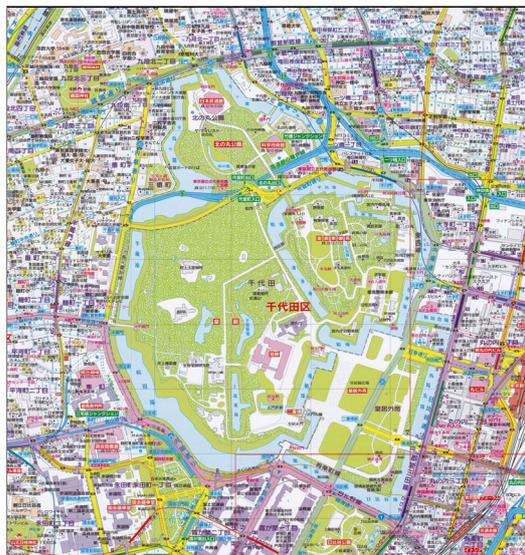
この日も大勢の参観者が訪れ賑わっており

ました。

そして、ふと思いついたのは、この場所に天皇陛下の「平和」への想いを「かたち」にする記念碑、頭頂に平和の女神像あるいは平和のハトなどのデザインに掲げるといったのはどうであろうか。

この記念すべき空間を繰り込んで、千鳥ヶ淵戦没者墓苑を含む、北の丸公園を「令和の森・平和記念公園」とし、ここに国立追悼空間を創ることは「平和」を願う令和の象徴天皇として、国内外に非常に強いメッセージになるのではないかと感じました。

図12 皇居外苑全図



資料：リンクルミリオン東京23区市街道路地図 2013

4. 沖縄首里城炎上

10月31日未明、沖縄県那覇市の「沖縄のシンボル」首里城が激しく燃えている映像がテレビで流れました。この4月のパリ・ノートルダム大聖堂の炎上に重なる衝撃的な映像です。世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の中核—首里城の正殿、北殿、南殿、番所が全焼してしまいました。いずれも再建された木造建築ですが、出火原因は電気系統とか。

図13 激しく炎上する首里城の正殿



資料：産経新聞（2019.10.31）

首里城は15世紀に成立した琉球王国の居城であり、沖縄の歴史を凝縮した建築です。

17世紀初め、薩摩藩の支配下に入った後も、首里城は明、清への朝貢、東南アジアとの交易の拠点でした。太平洋戦争時、陸軍第32軍総司令部が置かれ、米軍の攻撃により焼失しましたが、1992年、沖縄復帰20周年に正殿などが復元されました。首里城は沖縄にとって、日本にとってかけがえのないものに違いありません。幸い首里城再建のための資料が残っています。首里城の復元に向けて、玉城デニー沖縄県知事も安倍首相も再建を表明しており、沖縄県はもとより全国的にも基金など支援の動きが起きております。鮮やかな朱の首里城が再建されることを願います。

5. ラグビーワールドカップ日本大会・ワンチーム日本健闘

この9月、10月、アジアで初めての大会となる「ラグビーワールドカップ2019日本大会」が全国各地で開催されました。この大会で7カ国出身の選手のいる日本チームが一丸となり大健闘でした。

日本は予選リーグ「プールA」で、9月20日のロシア戦30対10、9月28日のアイルランド戦19対12、10月5日のサモア戦38対19、10月13日のスコットランド戦28対21

と見事に全勝で勝ち上がりました。スコットランドを破った試合は、私に限らず皆テレビの前で手を上げて大喜びをしました。

図14 ラグビーワールドカップ



資料：朝日新聞（2019.9.29）

「ONE TEAM（ワンチーム）」を合言葉にアゴヒゲの主将リーチ マイケルと一体になって「日本」を冠した国際チーム、赤と白の縞のジャージを着た桜の戦士たち（愛称：ブレイブブロッサムズ（Brave Blossoms））の相手を恐れぬ果敢な戦いぶりに、思わず身を乗り出してのテレビ観戦でした。決勝トーナメントでは初戦、過去2度優秀賞経験のある強豪南アフリカとの対決でしたが、相手の壁は分厚く、3対26と力及ばずの結果となりました。

南アフリカは決勝でイングランドを32対12で破り、黒人の主将コリシは「人種が一つになった」と3回目の優勝カップを手に喜びを爆発させておりました。

ラグビーワールドカップ日本大会（9月20日～10月2日）の44日間の盛り上がり、特に日本代表の勝利と史上初の決勝トーナメント進出が決まった対イングランド戦の10月13日午後9時41分のテレビ瞬間視聴率は53.7%と大変なものでした。人種の混ざった日本チームは21世紀的にも思えます。

6. ローマ教皇来日、長崎、広島へ

11月23日、ローマ・カトリック教会のフランシスコ教皇が来日し、24日、世界で唯一の原子爆弾被災地長崎と広島を訪れ、祈りを捧げ、世界に戦争の悲惨さ、核兵器の非人道性を訴えました。

図15 長崎でメッセージを述べる
フランシスコ教皇



資料：朝日新聞（2019.11.25）

長崎でのメッセージ（要旨）

人の心にある深い望みの一つは、平和と安定への望みです。核兵器や大量破壊兵器を所有することは、最良の答えではありません。今、拡大しつつある相互不信の流れを壊さなくてはなりません。核兵器禁止条約を含め、核軍縮と核不拡散に関する国際的な法的原則にのっとり、飽くことなく、迅速に行動し、訴えていかなければなりません。核兵器は、安全保障への脅威から私たちを守ってくれるものではない、そう心に刻んでください。

フランシスコ教皇はカトリック信者 12.8 億人の頂点に立ち、バチカン国家の元首でもあります。

2017 年採択の国連核兵器禁止条約の発効は 50 か国の批准が必要とされますが、現在 33 か国に止まっています。アメリカの核の傘の中にある日本、韓国は背を向けたままの状態にあります。

図16 原爆の犠牲者に祈りを捧げる
フランシスコ教皇



資料：朝日新聞（2019.11.25）

広島でのメッセージ（要旨）

私は平和の巡礼者として、この場所を訪れなければいけないと感じていました。激しい暴力の犠牲となった罪のない人々を思い出し、静かに祈るためです。戦争のために原子力を使うことは、現代において、犯罪以外の何ものでもありません。真の平和とは、非武装の平和以外にありえません。原爆と核実験とあらゆる紛争のすべての犠牲者の名によって、声を合わせて叫びましょう。戦争はもういない！ 兵器の轟音はもういない！ こんな苦しみはもういない！

唯一の原爆被災国である日本は核兵器禁止に前衛的に役割を果たすべきです。

フランシスコ教皇は 26 日の離日までの短い時間に、長崎・広島両市の原爆被災者、東日本大震災の被災者、青山大学、他、様々な人々と交流し、戦争の非人道性、人類の平和を求める強いメッセージを残して去って行きました。

7. 日韓問題

昨年 10 月の元徴用工問題を巡る韓国大法院判決以来、日韓関係は悪化し続けております。民間交流、観光面での落ち込み、混乱が続いております。

今年、GSOMIA（ジーソミア、軍事情報包括保護協定）の破棄が取り沙汰されるまでになりましたが、11月23日の破棄執行直前、米国の仲介により、かろうじて撤回され協定は継続されることになりました。元徴用工の補償問題については日韓からいくつかの解決策が語られております。ともあれ日韓両国には大学をベースにした深い交流の歴史があり、現在も続いております。また日韓自治体間にも交流のネットワークがあります。一衣帯水の日本、韓国として、国同士、思慮深い対応が望まれます。

米上院は11月19日、香港の抗議を支援するとして「香港人権民主主義法案」を可決。11月28日、トランプ大統領もこれに署名しました。中国はこれに猛反対を表明しています。中国、中華人民共和国は今年、建国70周年になり、10月1日、これを祝って北京では盛大な軍事パレードが展開されておりました。また社会主義現代化強国を目指すとする習近平主席の中国はどこへ向かうのか。「香港デモ」はこれを占う鍵にも思えます。

(2019.12.05)

8. 香港デモ、区議会選挙 民主派圧勝

今年6月、香港政府の逃亡犯条例改正案に対する反発に端を発した、若者、学生による大規模な香港デモは、10月、11月になっても治まらず、過激に炎上する様子が、連日、メディア映像によって広く伝えられました。顔いっぱいマスクで覆面をした若者達に、香港警察が容赦なく1万発を超えるともいわれる催涙弾を浴びせ、路上だけではなく大学構内でも、立てこもったデモ隊と警官隊と衝突が起きるほどになりました。

そして11月24日の香港特別行政区議会選挙において、抗議活動を続ける民主派が親中派を圧倒し、全452席の8割を超える385議席を獲得する結果になりました。民主派は香港政府に対して五大要求、条例改正案の撤回、警察の暴力を調べる独立調査委員会の設置、抗議運動を「暴動」とする定義の撤回、デモ隊の刑事責任を追求しない、などを掲げています。林鄭月娥^{キャリー・ラム}、香港行政長官、そして中国はこの事態をどのように受け止めるのか。「一国二制度」とはどのようなものなのか。